

平成 26 年度 環境技術実証事業 自然地域トイレし尿処理技術分野

第 4 回技術実証検討会 [議事要旨]

日時	平成 27 年 3 月 16 日(月) 14:30 ~ 17:00
場所	青山生涯学習館 学習室 3
出席者	<p>検討員</p> <p>岡城 孝雄 (公財)日本環境整備教育センター 企画情報グループリーダー 木村 茂雄 神奈川工科大学機械工学科 教授 桜井 敏郎 (公社)神奈川県生活水保全協会 理事 穂苅 康治 槍ヶ岳観光(株) 代表取締役</p> <p>環境省</p> <p>田村 努 自然環境局 自然環境整備担当参事官室 参事官補佐/施設第一係長 栗林 重和 自然環境局 自然環境整備担当参事官室 施設専門官</p> <p>実証運営機関 (株式会社エックス都市研究所)</p> <p>乾 哲也 サステナビリティ・デザイン事業本部 新事業創出チーム 試料採取・分析機関</p> <p>岡崎 貴之 (一財)日本環境衛生センター 東日本支局 環境工学部 環境施設課 係長 事務局 (特定非営利活動法人 山の ECHO)</p> <p>上 幸雄、 加藤 篤、 平澤恵介</p>
欠席者	<p>荒井 洋幸 山梨県観光部観光資源課 課長 河村 清史 元 埼玉大学大学院理工学研究科 教授</p>
申請者	<p>株式会社ビオ・ミクト 代表取締役 塩田 祐司 株式会社ビオ・ミクト 役員 南京 博</p>
議事	<p>1.開会</p> <p>2.議事</p> <p>(1) 実証試験結果報告書の検討 (非公開) (2) 実証試験要領の見直し (3) 広報・PR 方法の検討</p>
配布資料	<p>資料 1 : 第 3 回技術実証検討会 議事要旨(案) (非公開) 資料 2 : 自然地域トイレし尿処理技術 実証試験結果報告書(案) (非公開) 株式会社ビオ・ミクト 資料 3 : 実証試験要領 11 版 改訂箇所(案) 資料 4 : 実証試験結果の広報・PR 方法の検討(案) 資料 5 : 第 5 回実証事業セミナー アンケート結果・概要版 (非公開) 資料 6 : 実証試験の実施状況</p>
公開/非公開	議事 (1) は非公開で行われた

[議事要旨]

第3回検討会 議事要旨の承認

- 実証機関より、「第3回技術実証検討会 議事要旨(案)」(資料1)の報告を行い、承認された。

議事

(1) 実証試験結果報告書の検討(非公開)

- 実証機関、および試料採取・分析機関(日本環境衛生センター)より、「自然地域トイレし尿処理技術 実証試験結果報告書(案)」(資料2)の報告を行った。
- 本検討会の内容を踏まえ、第3回運営委員会に向けて修正を行った上で、暫定最終版を実証運営機関に提出することを確認した。また、座長と副座長への最終確認を行い、その後技術実証検討員、実証申請者(ビオ・ミクト)および環境省に確認を行い、3月27日(金)までに環境省へ提出することを確認した。

(2) 実証試験要領の見直し

- 実証機関より、「実証試験要領11版 改訂箇所(案)」(資料3)の説明を行った。
- 実証運営機関より、実証試験結果報告書のチェックリストおよび実証試験要領の見直しに関する報告書の体裁等の変更について報告があった。
- 実証試験要領12版に向けた見直しについては、実証運営機関から全分野共通の改訂として通知のあった「報告書作成要領の実証試験要領への反映例」(H26VOC等簡易測定分野の実証試験要領の切り抜き)を参考に、現行要領を修正することとなった。
- 報告書概要版のボリュームを削減する件について、自然地域トイレし尿処理技術分野では報告書の構成から見直す必要があり、次年度以降の課題とした。

(3) 広報・PR方法の検討、その他

- 実証機関より、「実証試験結果の広報・PR方法の検討(案)」(資料4)の説明を行った。
- 実証試験結果の広報・PR方法の検討案については、引き続き議論を行っていくこととなった。
- 実証機関より、「第5回実証事業セミナー アンケート結果・概要版」(資料5)の報告を行った。
- 回答した32件について、トイレの導入および予定があるとの回答が5割を超えており、セミナーでの実証事業の広報効果が重要である点が確認された。

今後の日程について

- 環境省自然環境局参事官室の田村氏より、本年度の技術実証検討会が無事に終了したことの挨拶を行った。
- 事務局より、報告書提出時期と、検討会後の報告書確認スケジュールについて連絡した。

以上